

『アラド戦記』の中国における知的財産権侵害への当社の対応について

このたび、当社の連結子会社であるネオプル・インクが開発し、その知的財産権に基づく中国国内での配信及び運営をテンセント・ホールディングス（以下、テンセント）に独占的に許諾しているゲームタイトル『アラド戦記』（英語名：Dungeon&Fighter）』について、以下の中国企業7社及び5タイトルが、その知的財産権を侵害している疑いがあることが判明しました。

<知的財産権侵害の疑いがある中国企業7社>

上海恺英网络科技有限公司
上海犇娜网络科技有限公司
苏州聚和网络科技有限公司
浙江上士网络科技有限公司
上海悦腾网络科技有限公司
杭州聚塔信息技术有限公司
北京易悠网络科技有限公司

<知的財産権侵害の疑いがある5タイトル>

阿拉德之怒
地下城与勇者
地下城盟约
地下城之鬼剑传说
地下城与鬼剑士觉醒

当社グループは、テンセント以外のいかなる中国企業にも『アラド戦記』の知的財産権の使用許諾はしておりません。しかしながら、上記7社が同作の知的財産権を侵害するようなゲームを開発・配信していることが発覚し、さらに一部企業においては、ネクソングループより正式ライセンスを取得しているという事実無根の情報を発信しています。

このような違法行為は、プレイヤーの皆さまをはじめとするステークホルダーの当社グループ及び『アラド戦記』に対する信頼を著しく損なうものであり、当社はテンセントとともに断固たる姿勢で可能な限りの厳しい措置を講ずるとともに、プレイヤーの皆さまにも違法ゲームタイトルへの注意喚起を行ってまいります。なお、本件については、すでに当社グループのネクソン・コリア・コーポレーションからも声明を発表(*) しております。

(*) <http://df.nexon.com/df/news/notice/?mode=view&no=1110182>（ネオプル・インクのウェブサイト。韓国語のみ）

http://dnf.qq.com/webplat/info/news_version3/119/495/498/m397/201711/660223.shtml（テンセントのウェブサイト。中国語のみ）